

みんなつながっている。さあ、わたしたちも動いてみよう！

所属	愛知県名古屋市立植田東小学校	実践者	脇田 佐知子
対象	小学校6年生(143人)	時間数	11時間
場所	教室・多目的室	実践教科	総合的な学習の時間・道徳
ねらい	<p>テーマ【コミュニケーション・共生・人権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と世界がつながっていることに気付き、世界に興味をもつ。 ・物・人・国などを多面的に見ることで、違いを肯定的に捉えたり、課題に気付いたりする。 ・課題を解決する人々を知り、身近な課題解決のためのプロジェクトを作り、自分にできることを考え、行動を起こす。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>◆ わたしたちは世界とつながっている！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング(4つのコーナー)…多面的に見ることの大切さ ・(グローバルビンゴ)…世界と様々な面で関わりがある 	ビンゴカード
	2	<p>◆ 日本も世界とつながっている！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング(名刺で自己紹介)…自分や他人をよく知る ・(日本の食料自給率クイズ)…外国からの輸入に頼る 	A4用紙 ペン パワーポイント
	3	<p>◆ 日本の食卓と世界の食卓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(地球の食卓)【フォトランゲージ】…日本との共通点や相違点 ・【プレーストリーミング】…国や地域が違うと違うことたくさんある 	「地球の食卓」 A3用紙 ペン ワークシート
	4-5	<p>◆ 違いを楽しもう① ～世界の民族衣装編～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング(きつとあなたはこんな人)…思い込み訂正できること ・(民族衣装クイズ)(民族衣装・楽器体験)…日本との違いを肯定的に 	パワーポイント A4用紙 民族衣装・楽器等
	6-7	<p>◆ 違いを楽しもう② ～パラグアイ編～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング(海外旅行に行こうよゲーム)…人との関わり方の楽しさ ・(パラグアイクイズ)…パラグアイの習慣・食事・文化 ・(パラグアイの体験)…日本との共通点や相違点を肯定的に 	パワーポイント テレレ・チパ・アルパ ニヤンドウティ ゴマ
	8	<p>◆ ちがいのちが い みんなちがって本当にいいのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング(Yes, No カード)…考えの違い ・(ちがいのちが い)…あってよい違い・あってはいけない違い ・【派生図】…あってはいけない違いを放っておくとどうなるか 	Yes・No カード ちがいのちが いカード
	9	<p>◆ あってはいけない違いとその解決について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテウラ地区の貧困問題…パラグアイのあってはいけない違い ・カテウラ音楽団…課題を解決する人・課題解決に大切なこと 	A4用紙 ペン パワーポイント
	10-11	<p>◆ わたしたちのクラスや学年はどうだろう？卒業までのわたしのプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【対比表】良いところ・改善したほうがよいところ…クラスや学年の課題 ・プロジェクトづくり…自分にできることを ・【みんながみんなのサポーター】…お互いに応援しよう ・パラグアイで出会った人々からのメッセージ…相手の立場に立つこと 	A3用紙 ペン パワーポイント
成果	自分たちや日本は世界の様々な国とつながりがあること、その世界には様々な国や文化があり、その違いも受け入れていくこと、しかし、違ってはいけない部分は改善していかなくてはならないこと、課題解決には、大切にすべきことがたくさんあること、自分たちも課題解決に向けて努力していくべきであることなどを理解することができた。		
課題	教師から提示した国について知ったり考えたりすることはできたが、子ども達が調べ、追及していく活動を設けることができなかった。今後は、興味をもった国について、そのような活動を取り入れ、課題解決のプロジェクトも世界に向けたものが考えられるようにしていきたい。		
備考	この実践の成果や課題を受け、リトルワールドに出かけて(2/9)様々な異文化を体験したり、興味をもった内容を追及したりする活動を行う予定である。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「わたしたちは世界とつながっている！」

この時限のねらい

- ・自分や友達が世界とどれだけ関わっているかを調べる中で、世界とのつながりについて関心をもつ。
- ・国際理解とはどのようなものなのかを知る。

1 児童生徒の活動の流れ

① アイスブレイキング(4つのコーナー)

- ・「好きな季節」「好きなこと」「好きなテレビのジャンル」「好きなお菓子」「遊びに行くなら」という質問で、4つのコーナーに分かれる。切り口が変われば、印象が変わるように、人は多面的にできているので、いろいろな角度から知り合い、より良い関係を築くことが大切であることを知る。



<ビンゴを通していろんな人に話しかけよう！>

② グローバルビンゴ

- ・ビンゴカードの中で、自分に当てはまるものにチェックを入れる。
- ・カードを持ちながら、学年のいろいろな人と関わり、当てはまる人の名前を書いていく。

③ ふりかえり

- ・自分たちが世界と関わっていること、世界で起こっていることは他人事ではないこと、遠く離れた世界の人々のことを理解するためにも、身近な自分や他人を理解すること、違いを受け入れていくことが国際理解の第一歩であることを知る。
- ・活動を通して感じたことや考えたことを書く。

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ アイスブレイキングの4つのコーナーを通して、同じ学校の同じ学年でも様々な違いがあることを理解することができたようだった。また、いろいろな角度から知り合うことの大切さを伝えていたため、様々なクラスの人と積極的に関わろうとする姿が見られた。
- ◇ グローバルビンゴを通して、知らないところで世界との関わりを多くもっていることに気付いていた。
- ◇ ふりかえりのプリントには、国際理解に興味をもつことができたという感想がいくつか見られた。

3 使用した教材

<教材1> グローバルビンゴシート

3 時限目「世界の食卓」

この時限のねらい

- ・様々な国の食卓の様子の写真を見ながら日本との違いや共通点などを考えることで、世界の多様性に触れ、他の国に住む人々のことに興味をもったり、身近に感じたりする。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① 地球の食卓【フォトランゲージ】(アメリカ・イギリス・インド・エクアドル・グリーンランド・中国・トルコ・ブータン・マリ)
 - ・グループに1枚写真を配り、写真の中の家族の一人になりきって、自分の家族や食事の内容についての紹介を考える。気づいたことや疑問に思うこと、写真の家族が住んでいる国がどこなのかを話し合う。
 - ・写真を見せながら、家族になりきって紹介し、どこの国と考えたのか発表する。
- ② 違いを探す【ブレインストーミング】【回し読み】
 - ・国や地域が違うと違って来るものにはどのようなものがあるのかを紙に書きだす。
 - ・様々な班の書き出したものを、お互いに見合う。
- ③ ふりかえり
 - ・国によって食材や食事の量、調理器具など様々な違いがあったことから、世界の多様性に気付き、違いを受け入れることの大切さを知る。



<この国は野菜が多いね！>



<写真からいろんなことに気付いたよ！>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 国による食事の様子に大きな違いがあり、その違いをおかしいと受け取るのではなく、理解していくことの大切さに気付いている子どもが多くいた。
- ◇ 食事の量の違いに気付いたふりかえりの中には、「違いを受け入れることは大切だけれど、貧しい所もあるので、全部がいいとは限らない」とあった。
- ◇ 食事以外の違いも知りたいという感想も見られ、様々な国に興味をもち始めたことを感じた。

3 使用した教材

<教材2> 地球の食卓(写真)

4-5 時限目「違いを楽しもう① ～世界の民族衣装編～」

この時限のねらい

- ・五感を通して異文化に触れることで、異文化を身近に感じられるようにする。
- ・異なる文化を比較することで、日本の文化や生活を見つめ直す。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① アイスブレーキング(たぶんあなたはこんな人)
 - ・グループで、隣の人のことを想像し、好きな色・好きなおでんの具・好きな遊び・好きな果物を書いて渡す。もらった人は、違っていた部分を訂正しながら自己紹介を行う。人は誰でも自分のことを理解してほしいと思っている存在だということを伝え、誤解や思い込みをされていた場合、修正する機会があれば肯定的な出会いにつながることを伝える。
- ② 民族衣装クイズ
 - ・パワーポイントで、様々な民族衣装を見せ、どこの国のものか考える。

③ 民族衣装・楽器体験

・紹介した衣装以外にもいくつかの衣装や楽器、おもちゃなどを用意し、を実際に着たり、演奏してみたりする。外国のお金もいくつか用意し、実際に触ることができるようにする。



<モンゴルの服はあったかいね>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 紹介したものを実際に着ることができ、子どもたちはとても興奮してうれしそうに着ていた。
- ◇ 暖かい地域と寒い地域では使う素材に違いがあることや、自然の素材が多く使われていること、日本と似た形の物やまったく違う形の物があることなど、様々なことに気付いていた。

3 使用した教材

<教材3> パラグアイボックス 2016

<教材4> エチオピアボックス 2016

<教材5> モンゴル・ラオス・韓国・インドネシア・カンボジアの民族衣装、アフリカの楽器、各国のお金

6-7 時限目「違いを楽しもう～パラグアイ編～」

この時限のねらい

- ・パラグアイについて見たり、聞いたり、体験したりすることを通して、違う文化をもつ国に対して肯定的に見ることができるようにする。
- ・ゲームや感想の共有などを通して、多くの人と交流する楽しさを味わうことができるようにする。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① アイスブレイキング(海外旅行に行こうよゲーム)
 - ・国名の文字の数でグループを作るゲームを行う。徐々に、クラスの違う人や男女混合、今まで一緒のグループになっていない人などの条件を付けて、より多くの人と関わることができるようにする。
- ② どこの国かなクイズ
 - ・トリニダ遺跡・小農家・お寿司・学校・アスンシオン・職業訓練校・サッカー・日本人学校の写真を見て、どこの国のものか考える。
 - ・全てパラグアイの写真だと伝え、様々な面があることを伝える。
- ③ パラグアイクイズ
 - ・テレレ、チパ、アサード、友情の日、ゴマに関することを3択クイズにして出題する。
 - ・グループの仲間と考え、ホワイトボードに答えを示す。
 - ・答えとともに、簡単に解説をする。
- ④ パラグアイ体験
 - ・マンディオカチップス、チパ、テレレの飲食とともに、パラグアイのカードゲームや教科書、新聞、お金や民族衣装などパラグアイの文化を体験する。
- ⑤ ふりかえり
 - ・パラグアイの文化に触れて感じたことや、考えたことをふりかえり、グループの仲間と共有する。



<パラグアイの国旗は表と裏があるんだよ>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ パラグアイクイズで、テレレは回し飲みをするということを知ると、「えーっ」という驚きの声が返ってきた。しかし、テレレを体験した子どもの中には、実際に体験してみると、イメージしていたものと違って偏見がなくなったという感想もあった。
- ◇ パラグアイについて様々な体験をしながら知った子どもたちは、他の国の文化も知りたいと異文化に触れることの楽しさを感じているようだった。
- ◇ パラグアイという国についてほとんど知らなかった子どもたちだが、ゴマや日系人がいることなど、日本と多くのつながりがあることを知り、興味を高めることができた。

3 使用した教材

<教材6> パラグアイボックス 2016

<教材7> テレレセット・チパ・ゴマ



<テレレポットを使ってみよう>



<ちょっと苦いけれどおいしい！>



<ニヤンドウティってすごい細かいね>

8 時限目「ちがいのちがい みんなちがっていて本当にいいのかな？」

この時限のねらい

- ・ あってもよい違いを考えることで、一人一人の違いを肯定的に捉えることができ、あってはいけない違いがあることを考えることで、相手を思いやることや、他人を傷つけてはいけないこと、人として大切にすべきことを考える。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① アイスブレイキング (Yes, No カード)
 - ・ 教師の質問に対し、「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいい」「いいえ」で答える。
 - ・ その答えを出した理由をグループの仲間に 20 秒で伝える。
 - ・ この活動をした感想を共有する。
- ② ちがいのちがいを考える
 - ・ 様々な違いが書かれた 12 枚のカードの内容をグループで話し合いながら「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえないちがい」の 3 つに分ける。
 - ・ 分類したカードの共通点について考え、言葉で表現する。
 - ・ どのような言葉で分類したのかを全体で共有する。



<考えていることは少しずつ違うんだね>



<うーん、これはどれに入れようかな>

③ あってはいけない違いを放っておくと【派生図】【回し読み】

- ・あってはいけないちがいを放っておくとどうなるか、グループで派生図を作成する。
- ・派生図の回し読みをする。
- ・なるほどと思った考えに☆を付ける。

④ ふりかえり

- ・これまでの学習を振り返りグループで感想を伝え合う。
- ・あつていい違いと、あつてはいけない違いがあることを確認する。



<放っておくと大変なことになるね>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 参加型のグループでの学習を続けてきたことで、お互いの意見が違っても、それを、認め合える雰囲気が出てきた。
- ◇ 「あってはいけないことを放っておくと誰かが傷ついてトラブルになってしまう。だからなくしていきたい。」というような感想が多く見られた。
- ◇ ワクチン接種により助かる命と助からない命や、小学生がガムを売って生活している現状などに対して、国の事情だから、あってはいけない違いではなく、どちらともいえないに分類している子どもたちがいた。これに関しては、子どもたちの意識を変えないといけないと感じた。

3 使用した教材

<教材8> Yes、No カード

<教材9> ちがいのちがいかード

9 時限目「あってはいけない違いとその解決について考えよう」

この時限のねらい

- ・パラグアイと日本の違いを肯定的に受け取りながらも、あってはいけない違いについて知る。
- ・パラグアイの貧困という課題に対して働きかける人について知り、課題解決に大切なことは何かを考える。

1 児童生徒の活動の流れ

① パラグアイの陰

- ・パラグアイあつてもよい違いについて写真を通して確認する。
- ・パラグアイのあつてはいけない違い(貧困)について写真を通して知る。
- ・動画と教師の説明により、カテウラ地区の現状について知る。
- ・カテウラ地区の困ることについて想像してグループで考える。

② 課題を解決するために

- ・課題を解決するためにはどのようなことができるのか話し合って考える。
- ・課題を解決しているカテウラ音楽団について知る。
- ・カテウラ音楽団とその創始者フアビオさんの動画を見る。
- ・課題を解決するために大切なこと5か条を考え、グループで共有する。

③ ふりかえり

- ・学習を通して感じたことや考えたことを書き、共有する。



<物ではなく、心が大切なんだ！>



<課題を解決するには・・・>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ パラグアイを、平和で楽しいイメージの国とらえていた子どもが多く、カテウラ地区の動画を見せた際には、食い入るように真剣に見ていた。そして、このような貧困の問題はあってはいけない違いだから、自分も関わって解決していきたいと考えた。
- ◇ ファビオさんの話の、「物では、人は変えられないから視野を広げることが大切である」ということが印象に残った子どもが多くいた。
- ◇ 課題解決に大切だと思うことを考える際には、これまでの学習や普段のクラスの活動として行ってきたクラス会議でのことを生かし、一人一人が真剣に考え、発表しあうことができた。

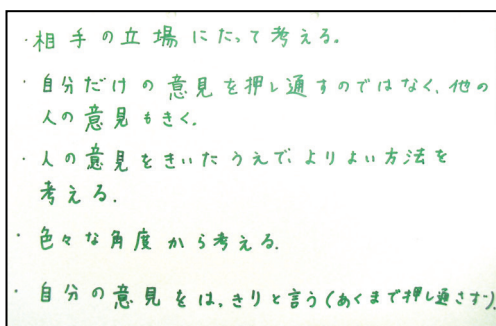
3 使用した教材

<教材10> パラグアイの写真

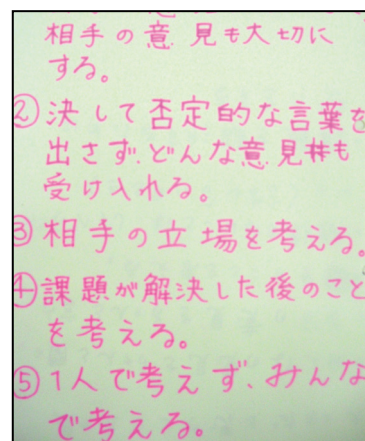
<教材11> カテウラ地区・カテウラ音楽団・ファビオさんの話の動画



<あってはいけないちがいを放っておくと>



<課題解決に大切なこと5か条>



10-11 時限目「わたしたちのクラスや学年はどうだろう？卒業までの私のプロジェクト」

この時限のねらい

- ・クラスや学年の良いところ、改善したほうが良いところを出し合う中で、クラスや学年を見つめ直す。
- ・卒業までに自分の取り組めることを考え、プロジェクトを作り、行動に移していく。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① クラスの良いところ、改善したほうが良いところ【対比表】
 - ・グループでクラスの良いところ、改善したほうが良いところを対比表に出し合う。
 - ・出し合ったものを見て、学年にも関わるものはないか考える。
 - ・表を見ながら、優先的に解決したほうが良いものを個々に考える。
- ② プロジェクトづくり
 - ・をリストアップした中で、卒業までに自分が取り組むことができそうな内容を自分・クラス・学年に分け、すぐにできる・ちょっとした努力・努力で何ができるのか考える。
 - ・プロジェクトを作る。(なぜ、どのように、いつ、だれが行うのかが分かるように)
- ③ プロジェクトの発表
 - ・自分の考えたプロジェクトを発表する。

- ④ みんながみんなのサポーター
 - ・プロジェクトに対する応援のメッセージをお互いに書き合う。
- ⑤ パラグアイで出会った人々からのメッセージ
 - ・課題と向き合い、解決をするために活動していた人々からのメッセージ動画を見る。

2 児童生徒の活動の成果・反応

◇ 今後実践していく予定である。

3 使用した教材

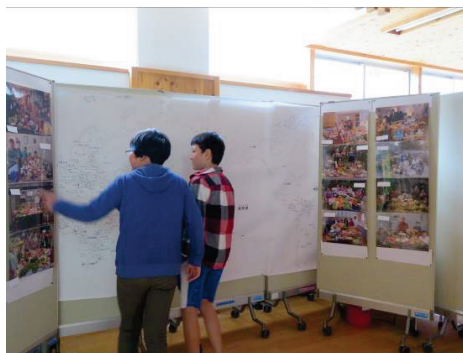
<教材12> メッセージ動画

■ 全体を通して

1 授業の様子



<お互いのことを知って大切だね>



<世界にはいろんな食卓があるんだね>



<チパっておいしい!>



<ラオスとモンゴルの衣装を着てみたよ>

2 参考文献・資料

- 1) 開発教育協会『写真で学ぼう!「地球の食卓」学習プラン 10 改訂版』2017年
- 2) 開発教育協会『開発教育実践ハンドブック』2012年
- 3) 開発教育指導者研修資料